

関係各位

『第二回北陸文庫大賞』概要と受賞作品発表会について

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。我々も新しい年を迎えて、新たな気持ちでスタートを切っております。このたびは昨年より選考をいたしておりました『第二回北陸文庫大賞』受賞作品発表の運びとなりました。

【北陸文庫大賞とは】

北陸三県の書店有志が集まり結成した「書宴 北陸会」を母体として、北陸三県の読書好き書店員を選考委員として 2024 年夏よりスタートし、昨年 1 月 24 日に第一回の受賞作品を発表いたしました。他の文学賞にない特色は、作品ノミネートの段階で出版社の編集・営業のご担当者より候補作を推薦をいただき、出版社と書店員が協同して作品を選ぶことです。そしてその条件は「素晴らしい作品であるにもかかわらず、十分評価される機会に恵まれなかつたために、読者から作品評価を得られなかつた秀作」であることです。作り手である出版社と読者代表を自負する読書狂書店員がタッグを組んで眠れる秀作を世に送り出すことが目的です。「昨年一番売れた本」というような尺度ではなく、「北陸の読者に本当に読んで欲しい作品」を選出しております。

【書宴 北陸会について】

われわれ「書宴 北陸会」は北陸三県の各書店で働く有志が会社の枠を超えて集まった任意の団体です。北陸の書店文化そして活字文化の繁栄を目指して集っております。その活動は「北陸文庫大賞」の運営にとどまらず、ご協力いただける出版社様と協働して、出版の「北陸ブランド」を確立すべく、アイデアを出し合いながら、楽しい企画を練っております。お互いに自分の仕事を担っているので、十分な時間と予算をとれないのが現実ではありますが、ご協力いただける出版社様と一緒に一步ずつ、目標達成のための努力を続けていきたいと思います。この活動が次の世代にも引き継がれて北陸の書店文化がどの地域よりも輝く未来を創出することを願っております。どうぞ、ご支援をお願いいたします。

【本年度の選考について】

昨年度は書店の店頭に在庫がないような作品を前提としておりましたが、本年度は「こんなに素晴らしい作品を正当に評価してほしい」という観点から、条件を「概ね実売部数で一万部を超えていないもの」というものに緩和いたしました。参加出版社の数も昨年の18社から5社増えて23社69作品のノミネートをいただき、3次にわたる選考を経て、グランプリ1作品および特別賞2作品を選びました。

【受賞作品発表会および授賞式の詳細】

日時：2026年1月23日（金） 15時開始

場所：MBPビル3階特設会場（〒920-8203 金沢市鞍月5丁目150 明文堂書店・金沢ビーンズとなり）

当日は受賞出版社の代表者をお招きして、受賞作品の発表会および表彰式を開催いたしました。その後、金沢ビーンズの売場に場所を移して、販売開始お披露目式を行いました。

【ご協賛出版社】,朝日新聞出版、明日香出版、インプレス、KADOKAWA、角川春樹事務所、河出書房新社、幻冬舎、シルバーバック、小学館、祥伝社、新潮社、ダイヤモンド社、筑摩書房、中央公論新社、徳間書店、日経BP、双葉社、フレーベル館、文芸社、ポプラ社、理論社（五十音順）

【参加書店】AKUSHU（福井）、うつのみや（石川）、勝木書店（福井）、紀伊國屋書店富山店（富山）、文苑堂書店（富山）、明文堂書店（富山）、TSUTAYA ヤスサキ（石川・福井）ほか（50音順）

2026年1月吉日

「北陸文庫大賞」実行委員会